

—あおぞら—

会長就任ご挨拶

大気環境学会 会長
若松伸司

大気環境学会の会長を、あと二年間だけ引き続きお引き受けすることとなりましたのでどうかよろしくご挨拶致します。

大気環境学会では、他の多くの学会でとられている立候補制ではなく、会員の互選で選ばれた理事が、更に互選で会長などの執行部門を決める方式がとられております。平成24年9月18日に開催されました理事会におきまして、会長、副会長、常任理事の9名が選任されました。本学会の運営は理事会や常任理事会を中心に進めて参りますが、先ず今期の副会長、常任理事の皆様をお願い致しました役割分担をお知らせする中で本学会の運営に関する考え方を述べたいと思います。役割分担と当面の具体的な検討事項を以下に示します。

大原副会長

- ・倫理委員会（倫理綱領を守る活動の推進）
倫理綱領の定期的な見直しと会員への周知
- ・年会担当（年会開催地や年会実施に関する諸問題を協議検討する）
- ・60周年記念事業企画担当（60周年記念事業の企画を行う）
寄附募金を検討する
年会開催における学会本部と年会事務局との役割分担と実施方法を検討する。松山年会での反省点や提案等を東京年会に連絡する。年会開催地の検討を行う。

早川副会長

- ・国際交流委員会（国際交流活動の推進を図る）
韓国大気環境学会との研究交流を継続する。中国環境学会との取り決めに向けての話し合いを行い来年の東京年会での企画を検討する。AJAE編集を国際交流委員会、編集委員会と協力して実施する。

伊豆田常任理事

- ・広報委員会（本学会員や社会へ学会活動等に関する広報活動を行う）
- ・選挙管理委員会（理事と監事の選挙を行う）
支部ホームページの充実と即時性の確保を図る。選挙制度の検討を行う。

大河内常任理事

- ・企画運営委員会（事業等を企画運営し学会活動の活性化を図る）
- ・産官学民連絡協議会（関連業界、国・自治体、大学、民間との連携を図る）
講習会（測定やモデリングなど）などの企画を行う。各種会員（正会員、学生会員、賛助会員）増への企画を行う。会員が少ない地域における企画を検討・実施する。外部資金の獲得を図る。研究会活動を支援する。ERCA委託の活用を図る。具体的には分科会や支部とも連携して講演会やワークショップの開催等を検討する。雑誌、年会要旨集、講演会やシンポジウム資料などの販売促進を行う。広告収入増を検討する。就職相談などの企画を行う。

長谷川常任理事

- ・総務担当（学会事務の改善等、総務的活動を行う）
- ・分科会担当（分科会の審査や分科会間の相互連携の推進を行う）
- ・支部活動担当（学会本部や分科会、他支部、学会等との連携強化を図る）
5年を目途に事務局スタッフ、機器やソフトのレンタル、会計事務所、広告代理店、印刷所などの見直しを検討する。支部便りの活用を図る。

畠山常任理事

- ・学会賞選考委員会（学会賞の選考を行う）
60周年特別受賞企画、プレ60周年特別受賞企画等を検討する。各種会員への表彰、市民会員賞などを検討する。

速水常任理事

- ・編集委員会、編集実務委員会（学会誌の企画・編集を行う）
- ・論文賞選考小委員会（論文賞候補を選定し、学会賞選考委員会に推薦する）
魅力ある会誌の更なる企画を検討する。

中井常任理事

- ・財務担当（財務改善に関わる活動を行う）
- ・会員担当（会費納入の促進、メールアドレスの収集等、会員に関わる活動を行う）
会費徴収方法を検討する。外部委託費用の管理を行う。

横田事務局長

- ・事務局の実務を担当する
- ・公益法人関連担当（内閣府との窓口となり事業計画、事業報告等の活動を行う）
年間スケジュール（支部活動、受賞募集、年会、分科会等の予定）を作成し公表する。環境省との交流を行う（会誌の特集号の企画、環境省委託などを検討する）。外部資金の獲得に関する情報を収集する。終身会員の宣伝を行う。海外会員への対応案を作成する。

平成12年から2年間に亘り、大気環境学会の活性化に向けて、様々な取り組みを行って参りましたが、その効果が出るまではなかなか時間がかかります。今後更に検討を深めて行きたいと思っております。平成26年9月18日の総会における監事からの指摘事項にもありますように、引き続き財務状況の改善を図らなければなりません。そのためにはより積極的かつ多角的に学会活動を推進して本学会を魅力的な存在にすることが重要です。この観点からの副会長と常任理事の役割分担と御理解下さい。常任理事会や各委員会、各担当の協議状況や活動実施状況を公開して必要に応じて会員の皆様からの御意見もいただきながら学会運営を進めて参りたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。